

研究設備マスタープラン策定方法の改定について：研究者個人アンケート

【設備マスタープランとは】

1,000万円以上の研究設備を対象とした整備計画。個人アンケートでは**2段階のアンケート**を実施し、必要性、経済性、共用性による要望設備の定量的評価に加えて、中期目標・中期計画との整合性を踏まえて、設備の更新・導入年度を定める。本マスタープランは毎年度更新する。

研究者個人アンケートの流れ

1次アンケート*
研究代表者が対象

目的：要望研究設備を設備グループに分類しリスト化

改定案

- 昨年度の1次アンケートの結果を活かした設備リストの更新
- 提案者グループによる分類された設備リストのブラッシュアップ（要求設備の見直しと厳選）



2次アンケート*
全学の教員が対象

目的：リスト化された研究設備に投票

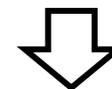
改定案

設備グループに分類され、厳選された少数の要望設備リストを対象に投票



共用設備基盤センターが
アンケート結果を集計※

目的：アンケート結果の評価と優先順位づけ



各種委員会を経て、学長が決定する。

更新・新規導入する研究設備の最終的順位付け

※集計結果の評価項目（改定案）

1. 各設備の要求者数（**必要性**）
2. コストパフォーマンス（購入価格/要求者数）と購入価格（**経済性**）
3. 共用化区分（全学共用設備、部局内共有設備、非共有（**専有**）設備、機能強化設備）（**共用性**）
4. 中期目標・中期計画との整合性

*アンケートの実施方法は、Google formによるインターネットアンケートとする。

研究設備マスタープラン策定方法の改定について：施設・部局アンケート

施設・部局アンケートの流れ

文書によるアンケート
施設・部局が対象



共用設備基盤センターが
アンケート結果を集計

目的：アンケート結果の評価



要望設備のランキング

目的：アンケート結果の評価に基づく
ランキング

改定案

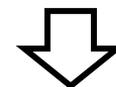
- 必要な研究設備（1設備）を回答。
- 更新と新規導入設備を区分。
- 概算要求の対象となる設備も含める（所要額1千万～3億円）。

改定案（評価項目）

- 共用性
- 重要性（中期目標・中期計画との整合性）
- 緊急性（法令、既存設備の老朽化など）
- 個人アンケートで要望されている場合は、そのランキング結果

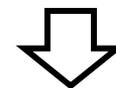
改定案

- 共用設備基盤センター長のもと、センター専任教員が評価とランキングを行う。



共用設備基盤センター運
営委員会で審議

目的：共用設備基盤センターの最終
ランキング案作成



大学研究委員会を経て、
学長が決定する。

更新・新規導入する研究設備の最終
的順位付け

【対象設備】

研究者個人アンケートでは対象とはなりにくい研究設備で、施設・部局の研究戦略上必要な設備、共用施設の運営に必要な設備、法令に基づき整備すべき設備を対象とする。教育を主たる目的とする設備と医療機械設備は対象としない。

平成32年度概算要求（基盤的設備）は本アンケートをもとに行う。あらためての照会を行わない。